



中尾貴子さん(中央)の情熱の踊り ヒラソル舞踊団の皆さんとの迫真の舞台

フレンズのつどい Part. 27

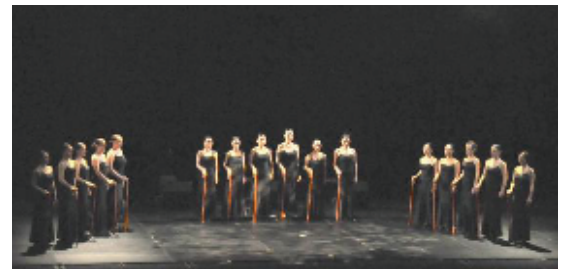
魅惑のフラメンコ公演 人間の嘆き・悲しみ その対極にある明るさと歓び

フレンズのつどいPart. 27 「魅惑のフラメンコ・情熱の世界へようこそ！」が8月5日文化の家森のホールで行われました。

連日の猛暑にもかかわらず、熱心なフラメンコファンやフレンズ会員などが、開演1時間前から集まり始めました。

第1部はにぎやかにカラフルな衣装をまとったヒラソル舞踊団と中尾貴子さんのテンポの速いブレリアで幕が開き、伊集院史朗さんの緩急織り交ぜた「ソレア・ポル・ブレリア」という歌と踊りへと続く。明るさと歓びの「カラコレス」、魂の奥底から響くような哀愁をおびた嘆きのカンテ(歌)と一気に観客をフラメンコの世界へと誘います。

盛り上がったところで伊集院史朗さんがフラメンコについて「インドからスペイン南部のアンダルシア地方にやってきたロマ族と呼ばれる人たちが起源と考えられています。彼らはある



バストンを使ってリズムを刻む踊り手

人生の光と影を描き出す

時期迫害を受け虐げられました。その怒りや苦しみ、悲哀、また恋への情熱、生きる喜びといった感情などを即興で歌い、踊り、ギター演奏で表現しています」と話されました。観客に向けて手拍子の打ちかた、ステップの踏みかた、掛け声の掛けかたなどを楽しくレッスン。会場から5人が選ばれて舞台上上がり伊集院さんの指導のもとタングゴを見事に踊り観客と舞台が一つになって「オレ!」「ビエン」

第2部は中尾貴子さんの円熟した踊りと伊集院史朗さんの若々しいステップの掛け合いがみごとにリアルルーカで始まり、バストーン(ステッキ)と床を踏み鳴らす靴の音だけでリズムを



中尾さんのフラメンコ…「人生の光と影」

刻む16人のダンスは初めて見る人も多く印象深いものでした。パリージョ(踊り子が両手に持つカスターネット)を使った踊りや、帽子を持った踊りなど明るく楽しいステップが続きます。

終盤の中尾貴子さんのソレアはフラメンコの最も古い形と言われる深みと威厳のある曲種でした。人間の嘆き悲しみ、明るさと歓び、人生の光と影を表現する迫真の踊りに会場は水を打ったように静まり、観客の視線は舞台に釘づけになり、踊り終わると同時に会場いっぱい大きな拍手が響き渡り、「オレ!」「オレ!」「ビエン」の掛け声がかかりました。

ファイナーレはにぎやかに全出演者が若々しく華やかなダンスで締めくくりました。

フレンズのつどい

お客様の声から

- ❖ 素晴らしかったです。中尾貴子さん、伊集院史朗さん最高でした。ステッキの場面、初めて見てびっくりしましたが良かったです。（長久手市・60歳代・女性）
- ❖ チラシの赤いドレスでの踊りを見ました。中尾さんの魂の踊りが際立っていました。フラメンコを堪能できました。男の人はもつとギラギラした屈強の、こつてり派が良かったかなあ、ひ弱そうで女性の迫力に負けそう。（名古屋市・50歳代・女性）
- ❖ ステキでしたが、リハーサルの関係で開場が遅れている旨お客様に案内がない。マイク放送（館内放送）などで周知すべきである。（名古屋市・60歳代・男性）
- ❖ チケット発売日には開館時間前から並んでお気に入りの席を購入しています。若手男性舞踊手の伊集院さんがたのしみですね。（長久手市・50歳代・女性）
- ❖ フレンズ会員の特典が魅力でチケット購入時に即入会しました。いろいろな公演がまだまだたくさんあるので文化の家に来るのが楽しみです。（春日井市・20歳代・女性）
- ❖ 以前は榮まで観劇や音楽鑑賞に行っていました。最近では文化の家で楽しんでます。歳を重ねると近場で楽しむのが一番です。（長久手市・70歳代・ご夫婦）

舞台裏から

初めてのハプニング

公演の準備は「文化の家」開館の9時からスタートしました。役割分担もタイムスケジュールも綿密な準備を重ねたにもかかわらず、今回は舞台設定の手違いから、出演者の立ち位置に手間取り、リハーサルが延びて開場時間が遅れました。

こんな場合のお客様への対応、役割、手順が明確でなかったのは反省材料です。お客様を「おもてなしする心」の基本に立ち返り対応することが大事だとスタッフ一同が感じました。



公演後、出演者の方々とスタッフは共に公演の成功を祝って歓談しました

こんなことをしています！

「フレンズのつどい」に向けて

事業部「実行委員会」

フレンズの会員の皆さん「フレンズのつどい」は年2回開催していることはご存知ですか？
夏の催し物は主としてコンサートやダンスなど、今年にはフラメンコをお楽しみいただきました。冬はクリスマス&ティーパーティーをメインに会員の皆さんの親睦の場を提供しています。

この「2つのつどい」は会員の中からスタッフ登録した事業部の自主企画、自主運営で行っています。今回の「フレンズのつどい Part. 27」で活動内容の一端を順を追ってご紹介いたします。

- 前年夏のつどいが終り、秋口にかけて「Part. 27の催し物」の候補が話し合われます。
- 複数候補の比較検討を行います。自主運営ですから赤字を出すわけにはいきません。良い出し物、入場料の値ごろ感と収支見込でかんかんがくがくと…でも和やかに、出演交渉と話し合いを並行して進めます。
- 催し物が決まるとチラシやチケットを自分たちで作成するのですが、これが3月頃です。



「井戸端会議？」…失礼な(笑)
本番に向けて、スケジュールと役割分担を話し合う実行委員のメンバーです

● チラシを置いていただく場所、ポスターを貼らせていただくお願い、情報誌などにPRの要請など、手分けして行います。

● 当日に向けてスケジュールと役割分担を決め、公演に備えます。

● 難しくそうに聞こえますか？ 実行委員は11名。それぞれ得意分野があるので、その力をうまく合わせることで成功の秘訣です。お喋りが得意なあなた：場を明るくするだけでも歓迎です。参加しませんか。

ご存知ですか？

文化の家の避難通路を

今一度、見直しましょう身の安全を

9月1日は「防災の日」でした。

地震の予知はまだまだ難しく日を追うごとに発生の確率は高まっております、いつ起こるか分かりません。

フレンズスタッフも「文化の家」の防災訓練に参加したり、防災グッズを充実させて、非常時に備える研修を積んでいます。

皆さんは避難経路をご存知ですか？

「文化の家」の1階は東西に避難出入口があるのをご承知かと思いますが、ガレリアホールの北にも避難出入口があります。2階は南に屋外駐車所への出入り口があります。火災発生場所によっては避難する方向が変わります。係員の指示に従って行動をお願いします。

また、緊急時には車での避難は危険です。まずは身の安全を優先してください。

ホールにいらしたときも、今一度ご自分の身の安全を守るため、非常口を確認してみてください。

安全の合言葉を参考に

火災や地震で避難…めったに起こることではないの思い込みでいざというこ



文化の家の防災訓練にフレンズスタッフも参加

きに慌ててしまいます。そんなときに合言葉として「おはしも」を覚えて下さい。

お…押さない

は…走らない

し…しゃべらない

も…もどらない

おはしも・オハシモ…簡単な言葉が身を守る言葉になるでしょう。

スタッフの声…防災訓練に参加して

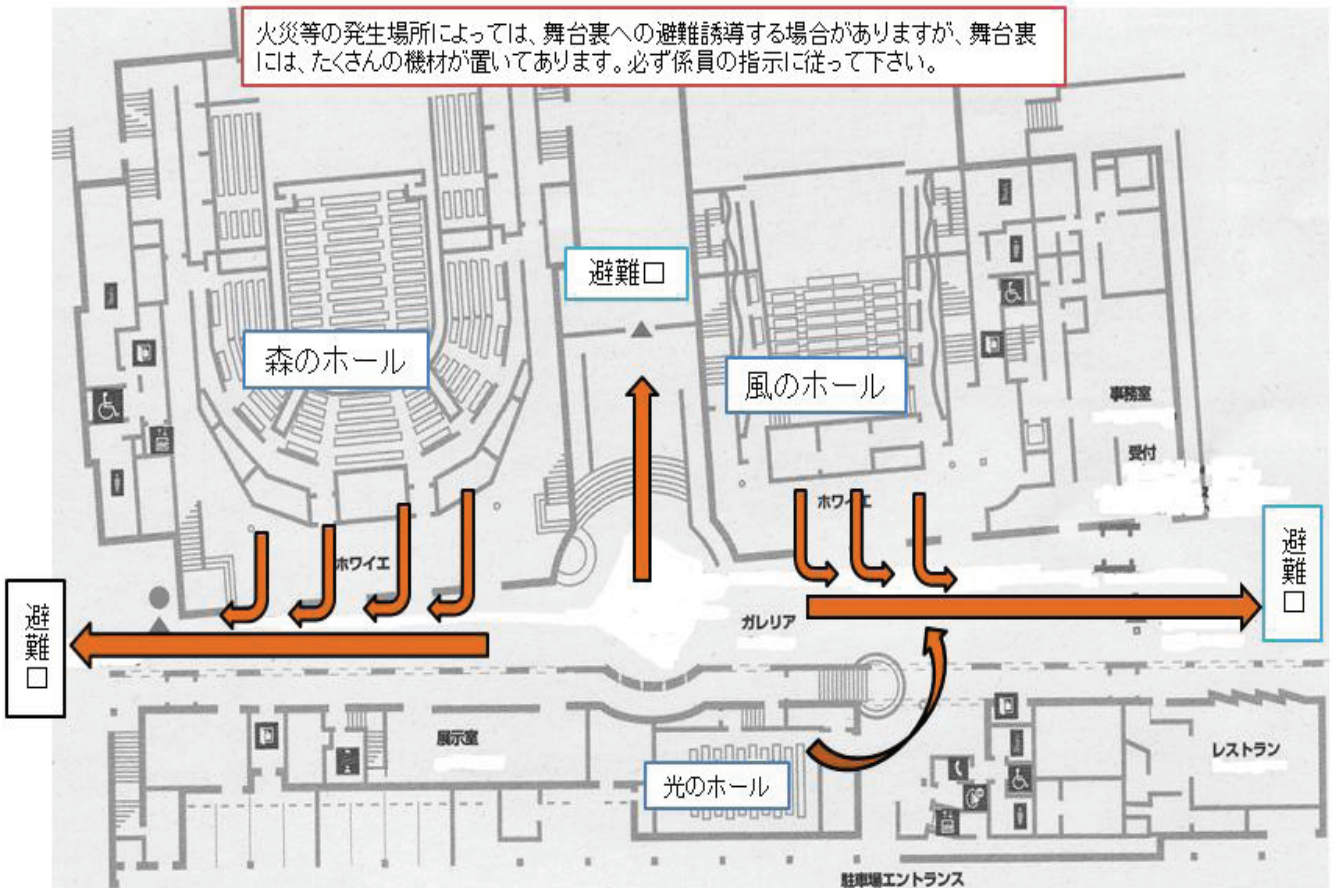
◇ 場内が暗くなると、どの出口が使えるのかよくわからなかった。火災の場合、地震の場合でいろいろ異なるので、落ち着いて行動しなければと思った。

◇ 観客は施設内の構造を知らないから、建物の構造を知った人が、自らの安全を確保したうえで、大声をあげて避難方向へ誘導することが必要。

◇ 地震の場合は、揺れがおさまるまでは落下物などから身の安全を確保する。

◇ 場内が暗くなるとそれだけで不安が増す。ペンライトの数が足りないのではと思う。(ご意見を取り入れて増やしました)

火災等の発生場所によっては、舞台裏への避難誘導する場合がありますが、舞台裏には、たくさんの機材が置いてあります。必ず係員の指示に従ってください。



トリプル3演劇ワリカンネットワーク
劇団太陽族 × 長久手市文化の家

ラガタイム
摺刻

作・演出 岩崎正裕
名古屋弁翻訳・監修 平塚直隆
出演

窓チーム 碓井秀爾(座★NAGAKUTE) 井上八千代(全映)ほか
扉チーム 森本研典(劇団太陽族) テラ・マルミ ほか
10月20日(土) 13:00(窓) 17:00(扉)
21日(日) 13:00(扉) 17:00(窓)
風のホール 全自由席

前売 フレンズ 1,800円 一般 2,000円
学生 1,000円
2公演セット券(窓チームと扉チームの2公演)3,000円
当日 フレンズ・一般 2,200円
学生 1,200円
2公演セット券(窓チームと扉チームの2公演) 3,500円

長久手市 市制施行記念長久手オペラ Vol.21
オッフェンバック作曲

ホフマン物語

歌劇「ホフマン物語」抜粋(原語上演/解説付き)

10月7日(日) 15:00 開演
森のホール 全自由席

芸術監督:大下くみこ ピアノ:山本敦子
出演:水野秀樹 相可佐代子 内田恵美子 ほか
長久手オペラ合唱団 ほか

前売 フレンズ 1,500円 一般 2,000円
学生 1,000円
当日 フレンズ・一般 2,500円
学生 1,500円



NAGAKUTE
ART
FESTIVAL
ながくてアートフェスティバル2012
10/20 土 >>> 11/4 日

期間中、文化の家及び市内各所で

- オープニングイベント ■ 作品展
- どこでもアート ■ ギャラリー
- アトリエ開放 + アートなお店

などなど多彩な催しが繰り広げられます。

詳しくは文化の家チラシ
アートマップをご覧ください。

12月に開催予定の フレンズのつどいPart. 28「クリスマスコンサート & ティーパーティー」に出演いただく
悠情楽団の皆さんによる
ガレリアコンサートが
10月28日(日)12時に
文化の家で開催されます。
フレンズ会員の皆さん、お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

名演への招待シリーズ12

スティーヴン・イツサーリス チェロリサイタル

With ロバート・レヴィン (フォルテピアノ)

オール・ベートーヴェンプログラム

ベートーヴェン:チェロソナタ第3番ほか

11月25日(日) 15:00開演

森のホール 全指席

前売 フレンズ 4,500円 一般 5,000円

学生 2,500円

当日 フレンズ・一般 5,500円

学生 3,000円



★ キッズプログラム

子どものためのコンサート ~ イツサーリスさんからのおくりもの

11月24日(土) 15:00開演 風のホール 全自由席

子ども(中学生以下) 500円 大人 1,000円

恩 師

長久手市 伊藤正尚

ほっと
すぺーす

7月14日・15日。c o b aの長久手に対する気持ちのこもった、熱い二日間のコンサートが終わった。

私はこの二日ともc o b aと共通の恩師である、当時の長久手高校の音楽担当の神野先生と観覧した。

この「共通の恩師」というのは、ただ単に音楽の先生として「共通」だったのではなく、私が1年先輩で時期は、ずれているが「音楽家への道」について相談をし、そして同じように二人とも「やめとけ」と言われたという意味での「共通の恩師」だ。c o b aはその言葉を力に世界に羽ばたき活躍し、私は地元でアマチュア音楽家として今もトランペットを吹いている。先日、その話をした時c o b aは笑顔で「先輩、それ正解」といった。それほどc o b aは厳しい道を歩んだということなんだろう。

c o b aと神野先生を約35年ぶりに引き合わせた。先生は「俺はやめとけと言っただけだから」と言うが、彼も私もその意味を十分理解しての「やめとけ」だったと思う。

c o b aは「先輩のおかげで先生と会うことができた」と言ってくれた。いやいや「c o b aがいたから私は先生と今もつながっているよ」。

編集者コラム

「天災は忘れたころにやってくる」

近い将来80パーセントの確率で発生するといわれている南海トラフ巨大地震。

いにしえから繰り返されてきた災禍を教訓とし、今できる「備え」から始めたいものです。 (せ)